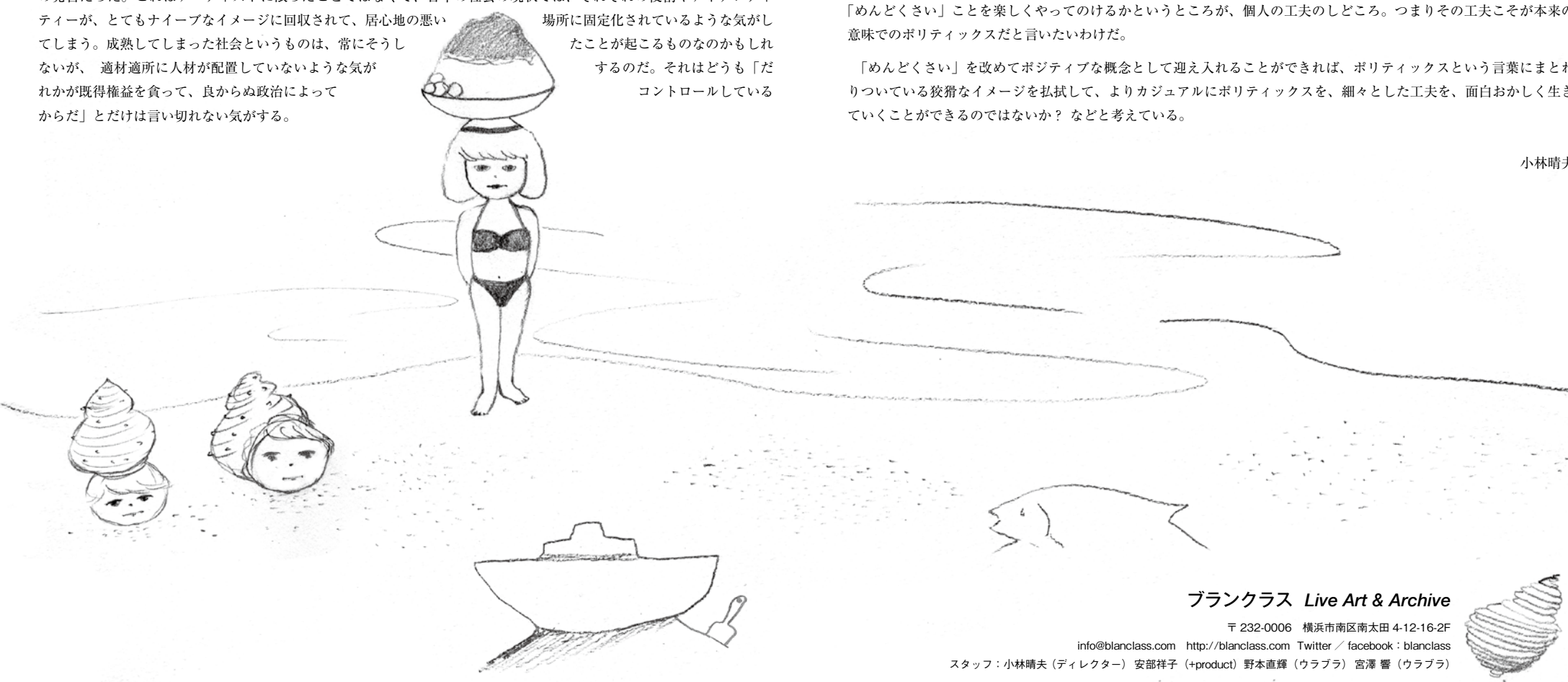
# blanClass

## 2015 6–7 Live Art on Every Saturday and more

## ポリティックスが足りない

5月の「アジアで上演する」に、アイランドジャパンの伊藤悠、（株）大と小とレフ取締役の鈴木一郎太、両氏と共に、「好きにやれる状態を継続する、そのような社会が来るまで」というお題で私も登壇者として参加した。

その日の話題は、それぞれの活動の話のほかに、たとえばアーティストが求められていることが固定化されてしまっている現状をどのように組み替えていけるか？ ということが中心になっていたように思う。興味深かったのは鈴木氏の「日本でアートをするにはアーティストという肩書きを名乗らないほうが、アートを実践しやすい」といったような内容の発言だった。これはアーティストに限ったことではなくて、日本の社会の現状では、それぞれの役割やアイデンティティーが、とてもナイーブなイメージに回収されて、居心地の悪い場所に固定化されているような気がしてしまう。成熟してしまった社会というものは、常にそうしたことが起こるものなのかもしれないが、 適材適所に人材が配置していないような気がするのだ。それはどうも「だれかが既得権益を貪って、良からぬ政治によってコントロールしているからだ」とだけは言い切れない気がする。



**アクセス**　井土ヶ谷駅はエアポート急行も止まります。

**〈品川から京急の場合〉** 京急蒲田でエアポート急行（横浜方面行）に乗り換えて井土ヶ谷駅下車。約 30 分
**〈横浜から京急の場合〉** 下りエアポート急行で２つ目（約８分）、普通で５つ目（約 11 分）、井土ヶ谷駅下車。
京浜急行 [ 井土ケ谷駅 ] 改札出て正面の信号を渡ってすぐ左折、１つ目の交差点を右折、２つ目の角を左折
三井のリパーク後ろ、白い blanClass 看板がある細い段々を上がって右の建物２階

ある知人が「ほとんどの人はノンポリティックスで、善良な人だ」と言っていたが、そういうポリティックスへの無関心というか、拒否反応みたいなものがはびこっているようなのだ。知人の言うポリティックスとは、決して政治屋さんが独占している政治のことではない。日常的にだれもが経済に関与しているようなレベルで起こる、自分が居合わせる場所を、常により良い場に創造していく営みのことだ。カジュアルなレベルでも経済や政治や文化をそれぞれに断絶して、あたかも関係ないものとして考えていったとしたら、なんだかそこにあるのはむき出しの人間関係とか、あるいは装われた体裁だけになってしまう。そうなってから、たとえばポリティックスをするとなったら、確かに「めんどくさい」。

きっとノンポリが増産されている理由の一つに「めんどくさい」があるに違いない。でも「めんどくさい」ところに共有された問題が隠されているのも確かなこと。その上「めんどくさい」は発明の父でもあるわけだから、いかに「めんどくさい」ことを楽しくやってのけるかというところが、個人の工夫のしどころ。つまりその工夫こそが本来の意味でのポリティックスだと言いたいわけだ。

「めんどくさい」を改めてポジティブな概念として迎え入れることができれば、ポリティックスという言葉にまとわりついている狡猾なイメージを払拭して、よりカジュアルにポリティックスを、細々とした工夫を、面白おかしく生きていくことができるのではないか？ などと考えている。

小林晴夫

blanClass 2015 June - July　イラスト：安部祥子　ロゴデザイン：浅野 豪

ブランクラス　*Live Art & Archive*
〒 232-0006　横浜市南区南太田 4-12-16-2F
info@blanclass.com　http://blanclass.com　Twitter ／ facebook：blanclass
スタッフ：小林晴夫（ディレクター） 安部祥子（+product）野本直輝（ウラブラ） 宮澤 響（ウラブラ）

## 2015 6

| mon. | tue. | wed. | thu. | fri. | sat. | sun. |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 月イチ<br>**岸井大輔**<br>アジアで上演する #10<br>st. 19:30<br>¥2,000（要予約） | 6<br>**河口 遥**<br>op. 19:00　st. 19:30<br>¥1,500（ドリンク別） | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13<br>**笠原恵実子**<br>op. 18:30　st. 19:30<br>¥1,500（ワンドリンク） | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 月イチ<br>**鈴木理策**<br>写真のゆくえ #2<br>st. 19:30<br>¥2,500・学¥1,500<br>（要予約） | 20 | 21<br>**趙 純恵**<br>op. 18:30　st. 19:30<br>¥1,500（ワンドリンク） |
| 22 | 23 | 24 | 25 月イチ<br>**CAMP**<br>something for something #5<br>st. 19:30<br>予約 ¥1,000<br>当日 ¥1,200 | 26 月イチ<br>**杉田 敦**<br>nano school #29<br>st. 18:30<br>¥1,200・学¥1,000<br>（要予約） | 27<br>**山城大督**<br>op. 19:00　st. 19:30<br>¥1,800（ワンドリンク） | 28 |
| 29 | 30 | | | | | |

## 2015 7

| mon. | tue. | wed. | thu. | fri. | sat. | sun. |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 1 | 2 | 3 | 4<br>**CAMP**<br>出張 blanClass<br>on CAMP@Ongoing<br>場所：Art Center Ongoing | 5 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 月イチ<br>**杉田 敦**<br>nano school #30<br>st. 18:30<br>¥1,200・学¥1,000<br>（要予約） | 11<br>**土屋紳一＋原田 晋**<br>op. 18:00　st. 19:00<br>¥1,500（ドリンク別） | 12 |
| 13 | 14 | 15 | 16<br>**中村達哉**<br>op. 18:00　st. 19:00<br>¥1,800（ワンドリンク） | 17<br>**中村達哉**<br>op. 18:00　st. 19:00<br>¥1,800（ワンドリンク） | 18<br>**中村達哉**<br>op. 16:30　st. 17:30<br>¥1,800（ワンドリンク） | 19 |
| 20 海の日 | 21 | 22 | 23 | 24 月イチ<br>**岸井大輔**<br>アジアで上演する #11<br>st. 19:30<br>¥2,000（要予約） | 25<br>**村田紗樹**<br>op. 18:30　st. 19:30<br>¥1,500（ワンドリンク） | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 月イチ<br>**CAMP**<br>something for something #6<br>st. 19:30<br>予約 ¥1,000<br>当日 ¥1,200 | 31 月イチ<br>**鈴木理策**<br>写真のゆくえ #3<br>st. 19:30<br>¥2,500・学¥1,500<br>（要予約） | | |

※各 3 時間ほど（途中入退室可）

### blanClass membership

blanClass の活動を応援、ご支援、ご協力をしていただけるメンバーを広く募集しています。

**スタンダードメンバー**
ステューデント 年会費 ￥10,000
シングル 年会費 ￥20,000
ペア年会費 ￥30,000

**プレミアムメンバー**
フレンド年会費 ￥50,000
フェロー　年会費 ￥100,000

**サポートメンバー**
ベネファクター 年会費 ￥250,000
パトロン 年会費 ￥1,000,000

※会員登録は受付、または web の申し込みフォームをご利用ください。

### DVD ｜多田正美 w/ 鈴木理策［西浦の田楽］

オープン価格｜ blanClass ストアページ bproduct.thebase.in から（￥2,000）でご購入できます。

音楽家、多田正美の表現に大きな意味を持つ奇祭、「西浦の観音様のお祭り」（静岡県西浦地区） を地続きの文化として交換してみようという企画。2011 年 10 月 29 日「新・港村」にて、中川敏光、伊藤啓太、柿ハンドルドライブと舞いびと達とともにコラボレートされたパフォーマンスと「西浦の観音様のお祭り」の映像＆多田正美インタビューを収録した DVD。

# Live Art

Live Art

毎週土曜日は、Live Art ＋公開インタビュー。ワンナイト完結の、どんなことでもありのアートイベント。
おいしい軽食（無料）、飲物（有料）をご用意しております。

*6.6［土］ パフォーマンス*

**河口 遥**　元妻がかわりに実現します！

日本人のことを〈アホチーニアス〉と呼称をつけて、
ばかにしていた日系アメリカ人の元夫・・・。
彼がしたかったことは、何だったのでしょうか？

open 19:00　start 19:30　￥1,500（ドリンク別）

2014.1.11 河口 遥《一人の男に三人の妻》

*6.13［土］ アートを共に語るご飯会、お題付き*

**笠原恵実子**　アートでナイト part 2 ｜アメリカ大陸先住民

私は現在、アメリカ合衆国を横断する大陸横断鉄道（Trans ー Continental Railroad、通称 TCR）で金属硬貨を潰していくプロジェクト、「TCR 15」を制作しています。今回のお題は、この作品のコンセプト形成に深く関わる、アメリカ大陸先住民です。近代における鉄道の敷設は、資本の集中に加担すると同時に異文化の同化を引き起こしました。北アメリカ大陸における横断鉄道の建設は、先住民達の生活圏を分断し、食料体系を破壊し、独自の経済体系に壊滅的な打撃を与えました。多くを失った彼らのその生活や文化を考え、そこから派生する会話を共有できたらと思います。

open 18:30　start 19:30　￥1,500（ワンドリンク）

笠原恵美子のワークテーブルより

*6.21［日］ 公開インタビュー*

**趙 純恵**　～ 2015 年 6 月 21 日

出演：李 静和（政治思想家）／小林晴夫（blanClass）／インタビュアー：趙 純恵

李静和さんをゲストにお招きしてトークイベントを行ないます。内容は、まず李さんが過去に B ゼミ（blanClass の前身）で行なった授業をリサーチし、その上でそのリサーチを李さんに見ていただき、過去と現在の李さんの政治思想の変化、（B ゼミから blanClass への変化も含めて）美術と政治思想の関係と可能性などを公開インタビューしたいと思います。

※ B ゼミでの李静和ゼミ：1999 年 8 月 27 日、2000 年 10 月 12 日、14 日、2004 年 2 月 21 日

open 18:30　start 19:30　￥1,500（ワンドリンク）

趙 純恵《Human Research in East Asia - Japan/Korea/Taiwan -》（2015, 東京藝大先端卒業・修了作品展）

*6.27［土］ パフォーマンス*

**山城大督**　パフォーマンス作品《タイトル未定》

2010 年の初出演以来、blanClass では「" 時間軸をもった空間 "" アクシデントが起こる空間 " を設計する」という意識で企画内容を考え、映像という記録メディアを扱う僕にとってはパフォーマティブな行為が実演できる場所として機能してきました。2 年ぶりの出演にあたって、あえて今回の作品を、大きな声で「パフォーマンス作品」と明言し、この 2 年ほどインスタレーションや展覧会の中で利用してきた「時間構成法」を用いて、個人名義では初めてとなる『パフォーマンス作品』を発表したいと考えています。3 作品の上演を構想中。12 日、14 日、2004 年 2 月 21 日の全 4 回。

open 19:00　start 19:30　￥1,800（ワンドリンク）

2013.7.31 山城大督《VIDEO LETTERS》

*7.4［土］*

**CAMP**　出張 blanClass on CAMP@Ongoing

今回の隔月 CAMP は Art Center Ongoing で開催されている、小山友也・野本直輝「LEAVING ALONE SOMEBODY WHO YOU DON'T GET.」展に出張します。時間や入場料を含めて内容は追って告知します。

場所：Art Center Ongoing　〒 180-0002 東京都武蔵野市吉祥寺東町 1-8-7

予約方法　CAMP のサイトをご確認ください。http://ca-mp.blogspot.com/

2015.5.2 HOTEL CAMP ｜夕食会（ゲスト：荒木悠）

*7.11［土］ 実践 / 写真*

**土屋紳一 ＋ 原田 晋**　反射、反応

「被写体と撮影者」の関係を考えると、身体的な反射が重要ではないだろうか。
インタラクションからリアクションへ。
土屋、原田の二人で思考する、「反射、反応」の実践。

open　18:00　start　19:00　￥1,500（ワンドリンク）

2012.7.14 原田 晋《Goast / Kassel, Tokyo》左
2010.9.25 土屋紳一《破綻しそう会》右

*7.16［木］·17［金］·18［土］ ダンス*

**中村達哉**　間 ( ま ) が腐るまで

長い時間を、ひたすら踊り続けようと思います。
時々状景のようなものが立ち上がるかもしれませんが、
全体を何かのイメージや意味に収束させようとせず、
そこから逸脱したり、はみ出てしまうような間（ま）が出てくれば良いと思います。
ただ見ているだけでもよいし、何か積極的な反応や行為をしても構いません。

16 [ 木 ]・17 [ 金 ]　open　18:00　start　19:00
18 [ 土 ]　open　16:30　start　17:30　￥1,800（ワンドリンク）
※各 3 時間ほど（途中入退室可）

2011.12.10 中村達哉＋山本麻世
《場所から場をつくる》

*7.25［土］ パフォーマンス*

**村田紗樹**　あと 3 秒の我慢だった

負荷がかかっている、その状態が過ぎ去るのを耐える間
それを「我慢」と呼ぶならば
そこから解放されることをひたすら待ちわびるのではなく、
その我慢を味わうことはできないでしょうか
そうしたら、いつの間にか「我慢」は過ぎ去ってしまっているはずです

open 18:30　start 19:30　￥1,500（ワンドリンク）

2013.10.19 村田紗樹《耳打ちの焦点》

# 月イチ セッション

連続しつつも、1 回 1 回が読切りのトークセッション。毎回刺激的な内容なので、どこを切っても違った面白さがあります。
途中参加も気にせず、ドシドシ参加してください。

**月イチ セッション 予約方法**

月イチ セッションは予約が必要です。以下の内容をイベント前日までにメールにて送信してください。こちらからの返信を持って予約完了とさせていただきます。当日の場合でも準備がありますのでご予約をお願いします。なお定員に達した場合などお断りすることもございますので、あらかじめご了承ください。
〈メールアドレス〉info@blanclass,com〈件名〉各イベント名〈本文〉1）日にち 2）氏名 3）住所 4) メールアドレス 5）参加人数

*6.5［金］ 分科会 3*

上演一般批評は可能か、上演の範囲がたとえば生活まで拡張される中で。
出演 寺尾恵仁（現代ドイツ演劇研究）／星野 太（美学）／
武藤大祐（ダンス批評）／司会 岸井大輔（劇作家）

*7.24［金］ やってみる 3*

アジアで上演する、あらため、立場なき表現あるいは上演とモノ

2015.5.15 アジアで上演する #9 ｜分科会 2

**岸井大輔**　アジアで上演する #10, #11（全 12 回）

アジアを概念化し西洋芸術に接ぎ木して作品製作することは、歴史を振り帰るまでもなく、陳腐かつ危険な飛躍となりやすい。しかし、それを承知の上で、アジアに新たに向かい直す芸術家が増えている。しかも、彼らは、表現形式として展示ではなく上演を志向することが多いようだ。この現象を「アジア（とか日本とか）」「上演」という言葉を使わずに記述できる言語を獲得したいと考え調査・実験・討論を重ねてきた。その結果立場なく上演することこそが、上記現象を生み、また問題の本質であるのではないかと考える。
6 月はジャンルを越えて上演一般を批評する言説は作れないか検討する。以上の議論を踏まえたトライアルを 7 月に行う。1 年にわたる研究プロジェクトもあと僅かで終わります。お立会いください。

start 19:30 - 22:30　￥2,000　定員 30 名

2015.3.20 アジアで上演する #7 ｜やってみる 2

*6.19［金］ 講義／作品講評*　写真と絵画 1

*7.31［金］ 講義／作品講評*　写真と絵画 2

**鈴木理策**　写真のゆくえ #2, #3（全 8 回）

デジタルカメラが備える機能は、それ以前のフィルムカメラで不便とされていたことを解決するべく用意された様に思う。たしかに、撮影枚数や露出の面でデジカメはフィルム写真の限界を拡張しているし、撮影したその場で図像を確認できることは、撮り手が信じる「より良い写真」を手に入れるためには頼もしいのだろう。撮り損じても後から加工・修正が可能だから、撮影時の偶然はもはや必要とされず、絵筆よりも簡単に心的イメージを具現化する道具としてカメラを使う人も多い。こうした変化はじわじわ浸透し、違和感なく受け入れられている。だがこの変化によって失われつつある写真の魅力が確かにある。さらに悪いことに、デジタルという新技術が旧来の写真に対するリテラシーの下で用いられているという閉塞的な状況が認められる。写真の持つ性質について改めて考え、その上で制作してゆくことで、作家性を確かなものにすることを本セッションの目的とする。

start 19:30　1 回 ￥2,500（4 回目～ ￥2,000）　学生 ￥1,500
定員 20 名

※各回後半で受講者の持参した作品講評を行います。
※ 9 月 写真と映画／ 10 月 写真の選び方／ 11 月 写真の展示／ 12 月 写真集の話／ 1 月 デジタル写真

2015.5.22 写真のゆくえ #1 知覚と写真

*6.26［金］ スクールセッション*　裸になること、左になること #3

*7.10［金］ スクールセッション*　裸になること、左になること #4

**杉田 敦**　nano school #29, #30

知っていると思い込んでいることを可能な限り小さくして、再び、本当の意味で知るために努力してみること。アートにとって重要だと思われるそうした姿勢を、いろいろ試していく、極小の学校、ナノ・スクールも、3 期目に突入しています。

井土ケ谷事件の当事者になるという衝撃的なスタートから、「協調／反駁／誤解」、「そこにそれはない、あるのかもしれないけれど」とテーマを替えつつ、昨年は《第 3 回イドガヤ・ビエンナーレ》を開催（2017 年 12 月 12 日まで開催中）。今期のナノ・スクールはアクティヴィストの可能性を探ります。テーマは、「裸になること、左になること」。頑迷な保守主義が、アベノミクス、PEGIDA とスタイルのイノヴェーションし続けているのとは対照的に、左翼には創造性は期待できないのでしょうか？　いま一度人類学的な意味で左になるために、できることとは何なのか。誰にでもできる服を脱ぐことと、アナキスト的な思考、行動との間にある隔たりについて考察／実験します。

start 18:30　￥1,200　学生 ￥1,000

※ナノ・スクールは完全予約制となります。 参加資格は、アート、あるいはそれに関連する分野の専門家、あるいは専門家を目指す人とさせていただきます。

2015.3.12 nanoschool#26 より

*6.25［木］ トークセッション*

*7.30［木］ トークセッション*

**CAMP**　something for something #5, #6

2015 年 2 月からスタートした CAMP の新シリーズ「something for something」。なにかのためになにかを話し合います。ちなみに 1 回目はセス・ジーゲローブ（Seth Siegelaub）の活動、2 回目はクレームについて、3 回目と 4 回目はファンドについて考えました。詳細は blanClass や CAMP のサイトで。

start 19:30　予約 ￥1,000　当日 ￥1,200　定員 30 名

※ CAMP のサイトからでも予約できます。http://ca-mp.blogspot.com/

2015.5.29 CAMP something for something #4